

□ 次の文章「Ⅰ」と文章「Ⅱ」を読んで、あとの問いに答えなさい。

文章「Ⅰ」

「ガウエインの結婚」

その昔イギリスで戦乱が続いてなかなか王様が決まらなかったとき、ロンドンの大聖堂の前に突然、剣が突き刺さった大きな岩が現われ、岩には、この剣を抜いたものが王様になると書かれてある。たくさんの豪傑が試したがどうしてもダメだったのを、ある日一人の青年が引き抜いた。「彼こそアーサー王だ」ということで、そこから「アーサー王伝説」が始まります。

「ガウエインの結婚」は、アーサー王がすでに立派な王様になってからの話です。アーサー王は、あるとき、自分の領地が魔法を使う邪悪な騎士にのつとられたという訴えを受け、ではそれを懲らしめようと思って出かけますが、反対に邪悪な騎士の魔術にやられてつかまってしまふ。アーサー王は、初めはすごく強い人物として描かれているのだけど、どういうわけか、王様になってからはそうでもない。

アーサー王が降参するので助けてくれと頼むと、邪悪な騎士が言うには、「命は助けてやってもいいが、一つ条件がある」と言います。その条件というのが面白くて、「すべての女性が一番望むことは何か」という問いの正しい答えを見つければよし、見つけられなかったらお前の王国はもうどうだ、というのです。

そこで、アーサー王は、この変な問いの答えを求めて方々を旅し、いろんな女性に尋ねてまわります。いろんな答えが出てきます。「素敵な男性と出会いたい」とか、「美しくなりたい」とか、「宝石がほしい」とか、「お金持ちになりたい」とか、まずたいていはそんな答えばかりで

すね。アーサー王も、どうも「これだ！」という答えに出会わずに、旅を続けていました。

ある日、暗い森の道のかたわらに、ひどく醜い老婆が座り込んでいるのを、アーサー王がさつさと通り過ぎようすると、その老婆が突然、「こら、その騎士、私はこんな格好をしているけれども、これでも一応レディだよ。それを知らんふりをして通り過ぎるとは何事です」と強く叱責します。そこでアーサー王も騎士としての気持ちを取り戻して、「これは大変申し訳ないことをした。□をお詫びする」と素直に詫びます。

すると老婆はこう言います。「なかなか見上げた心がけた。そうやって私をレディとして扱ってくれたから、いいことを教えてあげる。じつは、お前が何を求めて旅しているか知っているよ。すべての女性もつとも望んでいるものは何かだろ。その答えを教えてやろう」と。

② アーサー王はそれを聞いて喜びますが、老婆はさらに、「その代わりに一つ条件があるよ。私を若くてハンサムな騎士に娶わせてくれるなら、答えを教えてあげる」と言うのです。アーサー王は、答えを知りたい一心で後先を考えず、「OK、承知した」と安請けあいして、答えを教えてもらいます。

さて、アーサー王が邪悪の騎士のところへ戻ると、騎士は、答えを見つけてきたろうな、早速聞かせてくれ、と言います。そこでアーサー王は、いろんな人から聞いた、「ステキな男性に愛されたい」「きれいになりたい」「誰からも愛されたい」「うんとお金持ちになって、ぜいたくな暮らしをしたい」というような答えを言いますが、騎士はほくそえんで、みなダメ出しをします。どうせ正しい答えが見つかるはずがないと思っ

ている。  
「お前はやっぱりわからなかったな」と魔法使いが勝利の表情を浮か

べると、「いやまで、最後の答えがある」とアーサー王。「自分の意志を持つこと」、これでどうだ、と言うと、魔法使いが「げつ、何でそれを知っているんだ。さては俺の妹のやつが教えたんだな」とか何とか言うんですが、ともあれ、それが正解で、アーサー王は約束通り、無事自分の城へ戻ります。

**A**、これですべての問題解決とはいかない。例の老婆との約束をどうやって果たすのかという難問が残っています。あんな醜い老婆と結婚してくれるような、若くてハンサムな騎士なんてどこを探してもいるわけがない、とアーサー王は困り果ててしまう。

**B**、自分の甥できわめて忠誠心篤い騎士ガウエインが、「王様、顔色が悪いみたいですが、何か困っておいでですか」と尋ねる。**C**、

こうこうこういうわけで変な約束をしてしまったのだが、それを果たせそうにない、と言うと、この若くて非常にハンサムな騎士ガウエインは、「王様の**※**窮状を聞いた以上、放っておくわけにはいきません。私がその老婆の夫になりました」と申し出ます。

アーサー王は驚いて、「いや、いくら忠臣といえども、お前にそんなことをさせるわけにはいかない」と言いますが、ガウエインの方も頑固者で「一度言ったことは変えません」と、一步も後へは退かない。結局、**③**アーサー王も折れて、ガウエインを老婆に娶わせることになりました。

こうして、結婚式がとり行なわれるのだけれど、ガウエインは若々しくて前途有望な騎士なのに、新婦は醜いお婆あさん。みな、なんて気の毒な、というので、盛りあがらないことこの上なし。で、いよいよ初夜を迎えます。さすがにガウエインも暗い顔をして花嫁の顔もみずソッポをむいてため息をついている。

そこで花嫁が「あなたはなぜため息ばかりついているんですか」と問いただします。正直者のガウエインが答えます。「えっと、それはまず、

あなたがうんと年をとっている。それから、ひどく醜いし、おまけに身分も低いからだよ」

すると老婆の花嫁が反論します。「第一、みんな老いることをいやがるけど、老人には若い者にはない深い知恵があるから、あなたがなにか困ったことにぶつかったとき、ただおろおろしているだけじゃなくってきつと助けることができるでしょう。第二に、妻が醜いということは、夫のあなたは浮気の心配からすっかり解放されます。第三に、身分が低いというけれど、**④**人間の価値は、生まれや身分で決まるものではなくて、魂の問題でしょう」。ガウエインはそれを聞いて、「なるほど、言われてみればそういう気もするな」と思っ妻のほうを見ます。そうとう素直な性格だね。すると、なんとその老婆が、とても美しいレデイに変身しているのです。

ガウエインが驚いて、「これはいったいどうしたことだ」ときくと、妻は言います。「じつは私はあの邪悪な騎士に魔法をかけられて、醜い老婆の姿にされていたのです。この魔法が解けるには、あることが二つかなうことが必要でした。そして、その一つは、今日あなたがかなえてくれたこと、つまり、若くて素敵な男性から愛されることでした」

「でもまだ願いは一つしかかかっていないので、美しいもの姿でいられるのは一日の半分だけ、あとの半分はまた老婆の姿に戻ってしまいます」。そしてガウエインにこう尋ねます。「あなたは、昼間美しいのと、夜美しいのと、どちらがいいかしら?」

ガウエインは、やはり正直者らしくこう言います。「オレは、やつぱり夜がいいかな。すると彼女が答えます。「あなたの気持ちもわからなくはないけど、女性にしてみれば、昼間美しい姿を、人から見られたりするともううれしいことなんですよ」

ガウエインがすこし考えたあと、「なるほどそれも一理だ。ではきみ

が好きなのほうでいいよ」と答えると、彼女の顔が輝かがやいて、「うれしい、いまあなたが二つ目のことをかなえてくれました。これで私は昼も夜ももとの姿に戻れます」と言う。つまり、二つ目のことは何かというと、それが「自分の意志を持つこと」だったわけです。  
ということ、この話は、めでたし、めでたしのハッピーエンド、となります。

( 竹田青嗣 『中学生からの哲学「超」入門』 一部改変 )

※(文中のことばの意味)

叱責 : しっかりとがめること。

娶わせ(る) : 妻として迎えさせる。

窮状 : 困り果てているようす。

問1 A C にあてはまることばの組み合わせとして、最もふ

さわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |   |      |   |      |   |      |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ア | A | さて   | B | そこに  | C | 要するに |
| イ | A | すなわち | B | あるいは | C | なぜなら |
| ウ | A | ところが | B | さらに  | C | たとえば |
| エ | A | でも   | B | すると  | C | じつは  |

問2 ——— 線① 「騎士としての気持ち」について、次の(1)(2)に答えなさい。

(1) 「騎士としての気持ち」とはどのようなものですか。文中のことばを用いて、十五字〜二十字で説明しなさい。句読点なども字数に数えます。

(2) 文中の  には自分の行いを「騎士としての気持ち」でふり返ったことを表すことばが入ります。ふさわしい漢字二字の熟語で答えなさい。

問3 ——— 線② 「アーサー王はそれを聞いて喜びます」とありますが、

この場面でアーサー王はどのような人物であると考えられますか。次の  にふさわしいことばを五字以内で考えて答えなさい。

◆ 邪悪な騎士の問いに対する答えを求めますがあまり、後先を考えない  人物。

問4 ———線③「アーサー王も折れて」の「折れ(る)」と同じ意味で用いられているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 台風で庭の植木が折れてしまった。
- イ クラスのみんなで劇を作り上げるのは骨の折れる作業だ。
- ウ 駅に行くにはあの信号を右に折れて五分ほどだ。
- エ 話し合いは先方が折れてくれたおかげでまとまった。
- オ ぼくはいろいろなタイプの紙飛行機が折れる。

問5 ———線④「人間の価値は、……魂の問題」とありますが、どういうことですか。わかりやすく説明しなさい。

問6 文章「I」について、花子とおばあさん(祖母)が話し合っています。次のa、dにふさわしいことを考えて答えなさい。

花子 「自分の意志を持つこと」っていうのは、今の時代、**a**のことではないかしら？

祖母 たしかに、「すべての女性がいちばん求めるもの」の答えと聞いて、あまりピンとこない人もいるかもね。でも、私が学生だったころには、女の人たちがいちばん

ん望んでいたことの一つだったような気がするわ。

花子 なんて？

祖母 それまで女性は自分で**b**や**c**を決めることができる時代が長く続いたからかしらねえ。

花子 おばあちゃんは学生のとき、なにになりたかったの？

祖母 学校の先生よ。でも、卒業してすぐ、おじいちゃんとお見合いで結婚しちゃったけどね。

ところで、花子は「なぜ勉強するか」「なぜ学ばなくてはいけないか」、考えたことある？

花子 ふつうに考えれば、勉強をするのは、将来大人になつたとき生き方を**d**に選べるようになるためかなあ。

祖母 そうね。でも、なにか自信なさそうね。最近の学校は、行かなければいけないから行ってるだけ、みたいなところがあるんじゃないの？それでいいの？

花子 ううん、よくない。だから、しっかりした自分の意志を持つことが大切なんだよね。

## 文章〔Ⅱ〕

（次の文章は、テレビ番組での漫画家・やなせたかしさんへのインタビューをもとに作成されたものです。）

【アンパンマンの大ヒットまでには、長い助走の年月があった。

四十代後半まで代表作がないまま、さまざまな仕事をこなしていた。宣伝部員、雑誌の記者、舞台美術、脚本家、構成作家……。漫画家でありながら、漫画の仕事は少なく、自分の居場所を見いだせない日々。それでもひたすら、漫画を描き続けていた。その当時の心境は、『ぼくの道』という一編の詩にも込められている。】

### ぼくの道

荒れた砂丘を歩く

道は遠い

道に迷ったのかもしれない

不安をおさえてシャニムニ歩く

鉛筆の林

ケシゴムの丘

ペン先の森

日はくれかかって空はまっくら

それでもふしぎに心は楽しい

この道が好きだから

⑤ ぼくは歩いている

他になんにも方法がない

一足とびにあそこへいけない

——『手のひらを太陽に』は、やなせさんの作詞ですね。あの詞はどのようにして生まれたんですか？

僕が、漫画家でありながら、漫画の仕事がまったくなくなっていた時期につくったものなんです。夜、仕事場で、手に懐中電灯を当てて遊んでいて。よく、子どもの頃「レントゲンごっこ」というのをやっていたんだけど、血の色が見えるんだ。真っ赤でね、すごくきれいだったんで、自分に元気はなくても、血はすごい元気なんだなあって思って、それを書いたというわけ。

⑥ でも懐中電灯じゃ具合が悪いんで、「太陽に」ってことにしたんですよ。まさかあの歌が、こうやって残っていくとは全然思わなかったけど。

——「一番の歌詞は「ぼくらはみんな生きている、生きているからかなしいんだ」で、二番が「生きているからうれしいんだ」。なぜ「かなしいんだ」が一番になったんですか？

生きてなきゃ、「かなしい」という気持ちになることもないんですね。

そして、かなしみがあるから喜びがある。悲喜交交と言うでしょ。悲喜交交とは言わない。かなしみがあって、喜びがある。

しかし、かなしいってというのは、ただ涙を流して泣くっていうことではなしに、人生っていうのは一種のかなしみがあるんです。いずれ我々は死ぬ、⑦ 愛別離苦のこの世界にいるわけなんです。ですから「かなしい」のほうを先にした。それで二番は「うれしい」に。ようは悲喜交交に合わせたんです。

よく質問されますよ、「なんで、生きているのになさしいんだ」って。

死んでしまえば、かなしいもうれしいもないです。生きているから、かなしいの。それから生きているからつらいとか、痛いとか、いろんなことがあるわけ。それは⑧「生きている証」なんです。ですから喜びよりも、むしろかなしみのほうが強い。だからかなしみを先に持ってきたわけです。

それで、かなしみというのは、ずーっと続くわけじゃない。その後には喜びがある。幸福ってというのは、不幸せでなければわからない。不幸せになった時にはじめて、幸福ってということがわかる。

普通にライスカレーなんかを食べたりしているでしょ。ところが、食べられない状態になると、それがどんなに幸せなことだったかに気づく。つまり、つらい状況じょうきょうに置かれなないと、その幸せはわからない。

『青い鳥』のチルチル・ミチルは、幸せの国をさがして歩く。しかし、最後に帰ってきたところは、むかし自分がいたところで、「幸せの国は自分のところにあった」ということに気がつきますよね。あれと同じなんです。

（ やなせたかし 『何のために生まれてきたの？』 一部改変 ）

問7 —— 線⑤「ぼくは歩いている」とありますが、具体的に述べられている部分を、文中の【 】からぬき出して答えなさい。

問8 —— 線⑥「まさかあの歌が、こうやって残っていくとは全然思わなかった」とありますが、そのように思ったのはなぜですか。その理由を二つ考えて答えなさい。

問9 —— 線⑦「愛別離苦あいべつりくのこの世界」とは人間のどのようなあり方を意味していますか。六十字以内で、わかりやすく説明しなさい。句読点なども字数に数えます。

問10 —— 線⑧「生きている証あかし」とありますが、筆者がいうところの「生きている証」とは、どのようなものですか。また、あなたがそのことと、文章「I」の筆者が伝えたかったことを受けて、将来どのように生きていこうと考えますか。あなたの考えを、次の条件を満たして書きなさい。

条件

- ・ 百八十字〜二百字で書くこと。
- ・ 二段構成で書くこと。
- ・ 一段落目には、「生きている証あかし」とはどのようなものかについて書くこと。
- ・ 二段落目には、文章「I」の内容を受けて、あなたがこれからどのような生き方をしたいかを書くこと。

これで問題は終わりです。